

つるおか

市議会

令和6年

12月定例会号

●R7.2.1 発行

Vol.82

だより

スケートを楽しむ子どもたち

— 小真木原スケート場 —

3月2日(日)まで開設予定



地域の課題や政治に対する
高校生の声を聴きました …… P 2
定例会のポイント …… P 3
定例会の概要 …… P 4
議案一覧 …… P 5
委員会審査 …… P 6
総括質問 …… P 7
一般質問 …… P10

地域の課題や政治に対する高校生の声を聴きました

鶴岡中央高校の生徒との意見交換会（11月7日）



市議会を代表して9人の議員が、鶴岡中央高校の3年生と意見交換を行いました。

この意見交換会は、高校生の主権者教育の機会として同校から提案があったもので、以下の9つのテーマの班に分かれ、高校生の視点から見た鶴岡市の課題や現状について、意見が交わされました。

意見交換のテーマ	高校生の主な意見等
①人口減少・脱「消滅可能性自治体」	・都会に進学した後、地元を離れてしまう人が多いことは問題だと思う。
②子育て支援	・中高生への支援（居場所づくりなど）がもっとあった方が良い。
③若者の政治参加 	・学校に選挙の投票所を設置してはどうか。 ・遊佐町で取り組んでいる「少年議会」に鶴岡市でも取り組んではどうか。
④観光振興・地域の魅力発信	・SNSをもっと活用して、市のイベント情報の発信をした方が良い。 
⑤住みたいまち、住み続けたいまちの環境づくり	・Uターンするきっかけとなる魅力的な場所が欲しい。
⑥多様性を認め合う社会、誰もが自分らしさを発揮できる社会	・将来、鶴岡で就職したいが、希望する職種がない。
⑦鶴岡市SDGs	・SDGsを自分に関わる課題として捉えることが難しい。
⑧人材育成・産業振興	・農業に興味を持ってもらうために農業体験を実施してはどうか。 
⑨DX（※）化 ※DX…デジタル・トランスフォーメーション。デジタル技術を活用し、生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。	・市役所の窓口に行かなくても簡単に手続きができるようにしてほしい。

意見交換会を終えて…

生徒の皆さんから様々な意見やアイデアを頂き、鶴岡市議会にとって気付きの多い機会となりました。意見を参考にして、今後の市政について議論を深めていきます。



12月定例会のポイント

産業廃棄物焼却処理施設の新設計画について、 県に対する意見書を可決（議会第13号）

櫛引地域梳代地内における産業廃棄物焼却処理施設の新設計画について、施設の設置許可権限を持つ県に対し、意見書を提出することが提案され、質疑・討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。

産業廃棄物焼却処理施設の見直しをしない限り、県は新設計画を認可しないことを 求める意見書

現事業者は、既存の産業廃棄物焼却処理施設の老朽化による更新を理由に、梳代字早坂706番2に新施設を建設する計画を発表し、住民説明会を開いた。

説明会では、新施設は現在の6倍もの処理能力に規模を拡大し、現在処理している感染性廃棄物や廃プラスチックなど9種類の処理品目に、新たに動物の死体や廃油、廃酸・廃アルカリなど6種類を加える計画が発表された。

周辺の住民からは、敷地の雨水が水田や下流域の農地へ与える影響、排出ガス放出量の増大への懸念、過去に不適切な廃棄物の保管などが

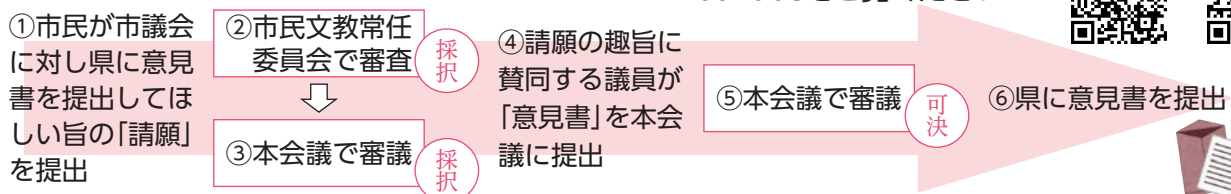
あったことなどの理由で、県と事業者に対して、新設計画に反対と計画の見直しを求める署名が10月23日に提出されている。

住民は、計画を現施設内の焼却炉の更新に限るよう見直すことを求めている。

よって、県は住民の反対の意思を受け止め、産業廃棄物焼却処理施設の見直しをしない限り、県は新設計画を認可しないことを求める。

また、事業者が地区住民や市民に丁寧な説明を尽くし責任を果たすように、県は事業者に指導することを求める。

今回の意見書提出に至るまでの流れ



物価高騰対策消費喚起クーポン券事業【第3回】を含む 補正予算を可決（議第109号）

定例会最終日に、3回目となる物価高騰対策消費喚起クーポン券事業を行うための経費を含む補正予算案が提出され、質疑の後、表決の結果、全員賛成で可決しました。

第2回同事業のクーポン券

事業費 2億5,906万円

クーポン券の配付対象・内容

- ・全市民にクーポン券1セットを送付
- ・1セット2,000円（500円×4枚）
内訳：飲食券2枚、共通券2枚
- ・支払1,000円ごとにクーポン券1枚（500円）の利用が可能

クーポン券利用可能事業者（登録制）

市内の中小・小規模事業者の店舗
（大手チェーン店、コンビニエンスストア、ドラッグストア等は対象外）

連携事業補助

商店街等複数の事業者が連携して行う誘客事業に対して以下の補助を行う。

- ・5事業者以上の広告・宣伝活動：上限20万円（補助率2/3）
- ・10事業者以上の消費喚起イベント：上限50万円（補助率10/10）

利用期間

7年3月31日から5月31日まで（予定）

実施体制

鶴岡商工会議所、出羽商工会、鶴岡市金融協会、鶴岡市で実行委員会を組織

12月定例会日程

- 3日 本会議（総括質問）
予算特別委員会
5・6・9日 本会議（一般質問）
10～13日 常任委員会
19日 本会議
予算特別委員会
20日 本会議

12月定例会の概要

14施設の指定管理者を可決
補正予算、条例議案など
34件を審議

12月定例会は、12月3日に開会し、市当局が25件の議案を提出しました。請願3件については、所管の常任委員会に付託しました。

上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書3件を含め審議し、18日間の会期を経て12月20日に閉会しました。

（議案・請願・決議・意見書の内容と審議結果は5頁）

市当局が議案を提出 7人が総括質問

開会初日、議員が議会第11号の決議案を提出し、質疑・弁明・討論の後、表決の結果、賛成少数で否決しました。

次に、市当局が予算議案7件、条例議案3件、事件議案15件の計25件の議案を提出し、各会派

を代表して7人の議員が総括質問を行いました。

（質問内容は7～9頁）

上程された議案は、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。

予算特別委員会を開催 提案趣旨を説明

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案7件についての提案説明が行われた後、各分科会に分割付託しました。

25人が一般質問

5日、6日、9日の3日間、25人の議員が市当局に対し、市政全般について一般質問を行いました。

ました。

（質問内容は10～14頁）

各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

10日に総務、11日に市民文教、12日に厚生、13日に産業建設の各常任委員会及び予算特別委員会分科会を開催しました。

常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。



また、総務及び市民文教常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

（審査内容は6頁）

請願2件を採択 予算特別委員会で分科会報告

19日の本会議では、意見書提出を求める請願3件について、各所管の常任委員長が審査報告を行いました。請願第8号については、質疑の後、議員が委員会への再付託と継続審査を求める動議を提出し、所定の賛成者がいたことから、この動議を議題とし、表決の結果、賛成少数で否決しました。引き続き審議を行い、討論の後、表決の結果、賛成多数で採択となりました。

また、請願第6号は討論の後、表決の結果、賛成多数で採択とし、請願第7号は討論の後、表決の結果、可否同数となり、議長裁決で不採択となりました。

本会議終了後に開催した予算特別委員会では、各分科会委員長が予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で承認及び可決しました。

意見書3件を可決、条例・事件・予算議案は全員賛成で可決

最終日の20日の本会議では、議員提出の意見書3件を審議し、議会第12号は表決の結果、全員賛成で可決しました。また、議会第13号は質疑・討論の後、表決の結果、賛成多数で可決し、議会第14号は表決の結果、賛成多数で可決しました。

次に、各常任委員長が条例及び事件議案について、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議会第84号から議会第108号までの25件は全員賛成で承認及び可決しました。

最後に、市当局が追加議案を提出し、議会第109号は質疑の後、表決の結果、全員賛成で可決し、議会第110号は表決の結果、全員賛成で可決しました。



議会Q & A

Q：一般質問は何分することが
できるの？

A：会派ごとに
30分×会派所属議員数
（ただし、議長は除く）
の持ち時間制となっています。
※会派に所属していない議員は各30分

◆本市議会では、当局が答弁する時間も含めて、左記の時間で行っています。この時間を超えると終了となるため、議員は時間配分を考えながら質問しています。

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第84号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第2号）の専決処分の承認について	予算特別	承認 (全員賛成)
議第85号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算（第5号）	予算特別	
議第86号	令和6年度鶴岡市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	予算特別	
議第87号	令和6年度鶴岡市介護保険特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第88号	令和6年度鶴岡市休日夜間診療所特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第89号	令和6年度鶴岡市病院事業会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第90号	令和6年度鶴岡市下水道事業会計補正予算（第2号）	予算特別	
議第91号	鶴岡市朝日庁舎・消防署朝日分署改築機械設備工事請負契約の一部変更について	総務	
議第92号	指定管理者の指定について（鶴岡市ケーブルテレビジョン）	総務	
議第93号～議第96号	指定管理者の指定について（鶴岡市自然学習交流館ほか3件）	市民文教	可決 (全員賛成)
議第97号	鶴岡市高齢者福祉センター設置及び管理条例の一部改正について	厚生	
議第98号	鶴岡市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	厚生	
	荘内病院の診療科目に救急科を加えるもの（令和7年1月1日施行）		
議第99号	鶴岡市立荘内看護専門学校設置条例の一部改正について	厚生	
議第100号～議第104号	指定管理者の指定について（鶴岡市休日夜間診療所ほか4件）	厚生	
議第105号～議第108号	指定管理者の指定について（鶴岡市立加茂水族館ほか3件）	産業建設	
議第109号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算（第6号）	省略	
議第110号	鶴岡市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	省略	

▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第11号	石井清則議員に対し猛省と責任の自覚を促す決議について	省略	否決 (賛成少数)
議会第12号	政府の農業制度の見直しに関する意見書の提出について	省略	可決 (全員賛成)
議会第13号	産業廃棄物焼却処理施設の見直しをしない限り、県は新設計画を認可しないことを求める意見書の提出について	省略	可決 (賛成多数)
議会第14号	刑事訴訟法の「再審規定」の改正を求める意見書の提出について	省略	

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第6号	刑事訴訟法の「再審規定」の改正を求める意見書提出に関する請願	総務	採択 (賛成多数)
請願第7号	核兵器禁止条約の署名・批准を国に求める意見書提出に関する請願	総務	不採択 (可否同数による議長裁決)
請願第8号	産業廃棄物焼却処理施設計画の見直しをしない限り、県は認可をしないことを求める意見書の提出に関する請願	市民文教	採択 (賛成多数)

- ※1 組立てトランク型自動ラップ式トイレ…トランク型にして持ち運びできる組立式ポータブルトイレ。排泄物をその都度、自動でラップ（個包装）するため、臭いや細菌を密封できる。
- ※2 鶴岡第2 地方合同庁舎…令和4年度に旧荘内病院跡地に完成した庁舎。税務署等の官署が集約されており、鶴岡市の防災用資機材を備蓄する防災倉庫も合築整備されている。
- ※3 債務負担行為…1つの事業や事務が単年度で終了せずに、後年度においても負担（支出）をしなければならない場合に、あらかじめ、その内容を定めておくもの。
- ※4 高度公益機能森林…保安林等の公益的機能が高い森林で、県知事が指定する。

委員会審査

提案された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。審査の主なものを掲載します。

総務

〔議第92号〕
鶴岡市ケーブルテレビビジョン番組制作区域の拡大は

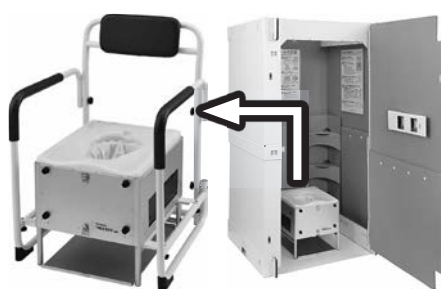
委員 ケーブルテレビで制作した番組の一部は、ユーチューブでも配信されているが、番組制作時の取材エリアを櫛引・朝日地域に限定せず、全市に拡大できないか。
櫛引庁舎総務企画課長 これまで、赤川花火大会や成人式等を取材してきたが、スタッフが5人と限られていることから、市全体に取材範囲を広げることは容易ではなく、可能な範囲での対応を検討していきたい。また、ケーブルテレビは櫛引・朝日地域在住の加入者の利用料金で運営しているため、無料で視聴できるユーチューブ配信を増やすことは公平性を欠く懸念がある。

市民文教

〔議第85号〕
災害時に避難所等で使用するトイレの備えは

委員 山形県防災資機材整備事業費補助金を活用して導入する組立てトランク型自動ラップ式トイレ（※1）の平時の保管場所は。

防災安全課長 鶴岡第2 地方合同庁舎（※2）内にある市の防災倉庫に保管する予定である。災害が発生し、災害ボランティアセンターが設置された場合に、その運営主体である鶴岡市社会福祉協議会に貸し出す予定である。



組立てトランク型自動ラップ式トイレ

厚生

〔議第98号〕
荘内病院に新設される救急科は

委員 救急科専門医の資格を持つ医師は何人いるのか。また、新設後も、ほかの診療科の医師が救急外来に対応することはあるのか。
荘内病院総務課長 令和6年9月に赴任した専門医1人と、ほかの診療科に所属している専門医1人の合計2人である。また、救急科

以外の診療科の医師については、従来どおり、平日の時間外や休日等に救急外来に対応する。
委員 救急科とほかの診療科では、どのような役割分担を考えているのか。

荘内病院総務課長 救急科の医師は患者の初期診療に当たり、症状を適切に見極め、その後の各診療科の治療につながるという役割を担うと考えている。救急科専門医の増員により、院内の診療体制の強化が図られることが期待される。



緊急性の高い患者に対応する救急外来

産業建設

〔議第85号〕
海岸林の松くい虫被害の状況は

委員 債務負担行為（※3）を決定する保全松林健全化整備業務委

託契約について、松くい虫の被害状況の推移と防除対象面積は。

林業振興主幹 5年度の松くい虫の被害状況は、前年度比2・6倍の約1,900㎡、6年度は前年度比1・7倍の約3,300㎡と拡大している。防除対象面積は、森林病虫害等防除法に基づき、高度公益機能森林（※4）区域の普通林約110haとしている。

松くい虫被害発生メカニズム

（林野庁ホームページより）
松林に甚大な影響をもたらすこの病虫害被害は、マツノザイセンチュウという体長1mmにも満たない線虫が松の中に入ることです。その線虫を松から松へ運ぶのが、マツノマダラカミキリという虫です。



マツノマダラカミキリ
（写真撮影：林野庁）

※マツノマダラカミキリが羽化する6月までに防除作業を完了するためには、今年度内に業務を発注する必要があることから、本定例会で債務負担行為を設定している。

総括質問

市長提出議案に対して、会派を代表して7人の議員が質問しました。
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」

本会議の生中継・録画配信を行っています。



YouTube 鶴岡市議会



質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

経済対策の考えと工業団地の環境整備は

創政クラブ **小野 由夫** 議員



議員 物価高騰や人手不足などで市内事業者の経営環境は厳しく、国・県の動向を注視している。

けでは解決できない状況である。連合山形鶴岡田川地域協議会等の経済・労働者団体との対話を重ね、経済対策を打ち出すべきと思うが、見解は。

市長 経済・労働者団体の関係者が委員として参画している中小企業振興会議など様々な機会を捉え、関係機関との対話を重ねながら、地域経済の持続的な発展に向けて、総合計画後期基本計画を推進していく。

議員 雨水対策や道路補修など、工業団地の環境整備の状況は。

市長 中央工業団地周辺の浸水対策として、令和2年度から12年度までの計画期間で、排水樋門の改修や幹線排水路の整備を進めている。道路補修については、軽微なものはその都度行い、大規模なものは重要度や交通量を勘案しながら進めていく。

ほかの質問

ユネスコ食文化創造都市、農業施策、選挙管理執行経費 など

低所得者等への支援、生活保護世帯の動向は

日本共産党鶴岡市議団 **菅井 巖** 議員



議員 県と市による低所得者等への灯油購入助成の取組状況は。

市長 今年度は12月2日から対象となる約6,500世帯に申請書を送付し、受付等を開始している。給付額は1世帯当たり1万円である。

議員 生活保護世帯数の動向は。
市長 6年10月現在の被保護世帯数は1,178世帯で、増加傾向にある。2年度から4年度の3か年の増加率は1.3%であるのに対し、4年度から6年度は3.3%となっている。

議員 国が検討している物価高騰対策の低所得者等支援に対し、市独自の上乗せや拡充の考えは。
市長 物価高騰対策の給付金については、速やかに支給できるよう対応する。また、5年度は、国による給付金の支給対象である非課税世帯に、住民税均等割のみ課税世帯を支給対象に加えて拡大しており、今回も同様の検討を行っていく。

ほかの質問

ユネスコ食文化創造都市、農業

持続可能な農業経営に向けた米価水準は

鶴岡市議会公明党 黒井 浩之 議員



議員 6年産米の価格が上昇したと言われるが、農家に利益が出る販売価格をどのように想定しているのか。改めて農家の経営状況を調査し、適正な米価の確保に向けた農業施策につなげていくべきと考えるが、見解は。

市長 持続可能な農業経営のためには、再生産可能な水準の農家手取り価格を実現することが重要であり、農家やJAなどの関係団体から現場の実情を伺いながら対応していく。

議員 市場取引による価格変動に左右されては、安心して農業経営ができない。米どころ庄内を代表して本市が持続可能な米価水準を示し、国や県に現場の声を届けていくべきではないか。

市長 国が開催している適正な価格形成に関する協議会での議論を注視しつつ、生産現場や地方都市における消費の実態についても把握に努め、国や県に伝えていく。

ほかの質問

ユネスコ食文化創造都市、道路照明灯LED化改修・保守管理業務

道路照明灯LED化、ESCO導入の効果は

市民の声・鶴岡 草島 進一 議員



議員 4年12月定例会の総括質問で提案したESCO事業（※）が、一般の道路照明灯LED化改修・保守管理業務で採用されたが、その経緯は。また、同業務をESCO事業で行う意義は。

市長 県内外の先行事例や経費、メリット等を調査し、検討を重ねて採用した。電気使用料金は年間約2,970万円の削減、CO₂排出量は年間76%の削減が見込まれる。さらに、単年度で全ての灯具を交換することで、これらの削減効果が早く得られるなど、意義は大きいと考えている。また、起債借入額の50%分が後年度の普通交付税に算入される脱炭素化推進事業債を活用することで、財政負担を軽減できる。

議員 学校や庁舎の断熱改修にもESCO事業を活用しては。

市長 今後、更に調査・研究を行い、検討していきたい。

ほかの質問

ユネスコ食文化創造都市、ガストロノミーツーリズム

※ESCO事業…Energy Service Company事業の略。省エネルギー改修に掛かる費用を、改修後の光熱水費の削減分で賄う事業。

海岸沿いの松枯れ対策は

リベラル あべ 寛 議員



議員 松林は、強い北風から砂の飛散を防ぐ大切な役割を果たしている。本市では海岸沿いを中心に、松枯れが深刻な問題になっているが、現状と対策は。

市長 庄内海岸の松林については、国・県・市が連携・役割分担をしながら、松くい虫による被害木の伐倒駆除等を実施している。5年度の松枯れの被害量は約2,800本と、前年度比で約2.6倍に急拡大したことから、媒介虫羽化前に伐倒駆除を実施した。6年度の被害量は約5,100本と、更に被害が拡大しており、7年度も媒介虫羽化前の伐倒駆除を計画している。被害の拡大で、予算や人的資源がひっ迫していることから、松くい虫対策全体の見直しを進めることが県主導の会議で提案されている。この方針について、本市ではどのような課題があるか、庁内で、また、関係機関と協議していく。

ほかの質問

なし

地域産業の維持と振興を図るための対策は

市民フォーラム **工藤 博** 議員



議員 本市において、企

業の倒産や集約化による統合、移転・人員整理などの動きがある。地域産業の維持と振興を図るため、担当部署の体制を強化して対策を講じていく必要があると考えるが、見解は。

市長 本市では、経営課題調査などを通じて、市内事業者の現状把握に努めながら、ハローワークなどの関係機関と連携し、雇用と地域経済を守る取組を行っている。エネルギー価格や物価高騰など様々な影響を受けて、市内事業者の経営環境が依然として厳しい状況にある中で、地域産業の維持と振興を図る対策は急務であり、それを進める上で、担当部署の体制強化は重要であると認識している。引き続き、地域経済の動向を把握しながら、担当部署の業務の実態を精査した上で、体制の見直し・強化を検討していきたい。

ほかの質問

なし

有利な地方債を活用した財源確保の方針は

SDGs鶴ヶ岡 **南波 純** 議員



議員 地方債は長期の債

務というマイナスイメージを抱きがちだが、一般財源を補完する貴重な財源の一つであり、元利償還金の一部が普通交付税で措置され、市の実質負担が抑えられるなど有利なものがある。本市の公共施設の整備や防災機能の強化・充実を図るための財源確保に当たって、今後、地方債をどのように活用するのか。

市長 合併特例債は5年度をもって活用可能額がゼロとなっており、今後は過疎債（※1）を基本としつつ、地域が限定されるものの最も有利な辺地債（※2）を活用していく。また、施設の複合化等が対象の公共施設等適正管理推進事業債や防災対策が対象の緊急防災・減災事業債など、事業目的に応じて最も有利となる地方債の活用を図りながら、投資事業における財源の確保及び後年度の実質的な公債費負担の軽減に努めていく。

ほかの質問

なし

※1 過疎債…過疎対策事業債。過疎地域持続的発展計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められた地方債。本市はみなし過疎に該当しており、市の全域で、かつ、幅広い用途で活用可能である。元利償還金の70%に相当する額が、普通交付税の算定に用いる基準財政需要額へ算入される。

※2 辺地債…辺地対策事業債。辺地（交通条件や経済的条件などに恵まれていない山間地等の地域で、住民の数などについて政令で定める要件に該当している地域）の公共的施設整備のために発行が認められた地方債。元利償還金の80%に相当する額が、普通交付税の算定に用いる基準財政需要額へ算入される。

議会の開催状況

令和6年中は4回の定例会（3月、6月、9月、12月）と2回の臨時会（2月、4月）が開催されました。

◎議会の開催状況

招集回数		会期日数		本会議日数	
定例会	臨時会	定例会	臨時会	定例会	臨時会
4	2	85	2	25	2

（単位：件）

◎提出議案の状況

市長提出						議員提出					請願		
予算	決算	条例	事件	人事	計	条例	決議	意見書	その他	計	受理	継続	計
30	4	39	30	7	110	1	3	10	0	14	8	0	8

◎審査の状況

（単位：件）

市長提出						議員提出				請願		
可決	否決	同意	承認	認定	可決及び認定	計	可決	否決	計	採択	不採択	計
95	0	7	4	2	2	110	12	2	14	4	4	8

発達障害児・者に対する 支援策の充実を

あき ば
秋 葉

ゆう 雄 議員



議員 発達障害等の特別な支援を要する子どもに対し、一人ひとり個別に支援計画を作成して、その子にふさわしい療育・教育の機会を作る必要がある。本市の療育・教育における課題は。

教育長 特別な支援を必要とする児童・生徒の特性や背景が多様化・複雑化していることによって、個別の教育支援計画・指導計画の作成が難しくなっていること、利用者の増加によって、放課後等デイサービスと学校との間で円滑な連携が難しくなっていることが課題として挙げられる。現在の取組の成果と課題を整理し、切れ目のない支援ができるよう努めていく。

ほかの質問

児童・生徒のゲーム依存症対策

がん対策、まずは定期的な 「がん検診」を

と がし まさ き
富 樫 正 毅 議員



議員 本市のがん検診受診率は、国が提唱する目標値60%以上に達していない状況である。これまでの施策を検証した上で、効果的な受診勧奨や受診体制の整備等の取組が求められる。また、受診者ががん検診の意義及び必要性を適切に理解できるよう努める必要があるが、見解は。

健康福祉部長 様々な取組を行っているが、受診率が目標に達していないことから、他自治体で成果を上げているナッジ(※3)を活用した受診啓発チラシを作成するなど、受診率向上の啓発活動を見直し、がん検診の必要性への理解促進に重点的に取り組んでいきたい。

ほかの質問

なし

※3 ナッジ (nudge) …英語で「行動をそっと後押しする」を意味する。行動経済学上、人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする手法。

高校や大学に期日前 投票所を設置しては

なか ざわ み ゆき
中 沢 深 雪 議員



議員 全国各地で学校に期日前投票所を設置する取組が行われている。政治を身近に感じ、投票するきっかけとなるため、本市でも、高校や大学への投票所設置を検討してはどうか。

選挙管理委員会委員長 平成28年に山形大学農学部に期日前投票所を2日間設置したが、設置場所の確保など大学との調整が難しく、その後は設置していない。現在、学校への投票所設置は考えていないが、高校生からは選挙への関心をより高めてもらいたいと考えているため、高校での出前講座の実施を増やすなど、投票参加を呼び掛けていきたい。

ほかの質問

荘内看護専門学校

部活動の地域移行への 支援や課題への対応は

さ とう ま り
佐 藤 麻 里 議員



議員 保護者が運営を担う保護者会クラブは、部活動地域移行の暫定的な受皿であるが、他団体へ移行する際の選択肢は。また、市の支援は。

教育長 総合型地域スポーツクラブ、スポ少、民間クラブ、文化団体のいずれかに移行していただく。市の施設の使用料等を減免しており、移行期間終了後も同様の支援を検討している。

議員 移行した団体の活動場所確保への対応は。

教育長 単発的な利用には開放できない学校施設が多い状況だが、地域移行したクラブが不利益を被らないよう、学校施設の使用条件や手続の整備について、早急に対応していく。

ほかの質問

なし

イノシシによる農作物 被害防止対策は

いからし かず ひこ
五十嵐 一 彦 議員



議員 鶴岡市農業協同組合及び庄内たがわ農業協同組合から、7年度の予算編成に当たっての要請書が提出されたと聞いている。その中の鳥獣被害対策のうち、特にイノシシによる農作物被害への市の対応は。

農林水産部長 捕獲活動に要する経費や電気柵設置に関する支援の継続・拡充を図るための予算確保の要請があった。イノシシによる農作物被害防止対策は、侵入防止柵の設置、誘引しない環境整備、捕獲・駆除による個体数減があるが、これらの総合的な実施が重要と考えており、対策強化のための予算措置を検討していく。

ほかの質問

孤独死の現状と防止策、新道の駅整備事業

小・中学校の授業中の 児童・生徒の様子は

ほん ま まさ よし
本 間 正 芳 議員



議員 現在、小・中学校の児童・生徒は、どのような様子で授業を受けているか。

教育長 6年度の1学期末に行った調査では、市内37の小・中学校のうち11校から「授業中に立ち歩く、教室から抜け出すことなどが繰り返される学級がある」等の回答があった。

議員 学校や教育委員会の対応は。

教育長 担任が1人で抱え込まないよう学校全体で対応している。教育委員会では、指導主事が学校と情報を共有しながら対応策を検討し、必要に応じて医療機関や外部機関につなぐなど、状況改善に向けて指導、助言している。

ほかの質問

国庫補助金の更なる確保、不登校対策

鶴岡駅外内島線を 早期に重要事業要望へ

さ とう まさ や
佐 藤 昌 哉 議員



議員 鶴岡駅外内島線のうち、既存の道路がないため新たな道路の整備が必要となる切添大橋から旧消防署駅前分署までの距離は。また、整備によって影響を受ける住宅戸数は。住宅の立ち退き等で、この整備には相当の年数を要すると推測されるため、早期に重要事業として要望するべきではないか。

建設部長 当該区間は延長約310mあり、墓地のほか、住宅が15戸程度あると把握している。重要事業要望については、有利な国庫補助メニューの調査や費用対効果の研究など、要望に当たっての要件を整理しながら検討していく。

ほかの質問

庄内南部定住自立圏形成協定・自立圏共生ビジョン等

デジタルを活用した 窓口手続簡素化の取組は

さ とう ひさ き
佐 藤 久 樹 議員



議員 高校生と意見交換をした際、窓口業務のデジタル化の意見が出された。市の取組状況は。

企画部長 今年度、マイナンバーカードの健康保険証利用の申込みができるセブン銀行ATMの設置や、朝日庁舎と上田沢地区の出張所等をオンラインでつなぎ、画面越しに手続ができる遠隔行政システムの運用、書かずに各種手続ができる電子申請用のタブレット端末の窓口への設置等の取組を始めている。また、高校生等の通学費支援に関する補助事業について、LINEの活用による申請から交付までの一貫したデジタルワンストップ化を実現している。

ほかの質問

農業所得向上のための方策、松枯れ被害の対策

老人クラブ活動の推進を 図るには

ほん ま しん べ え
本 間 新兵衛 議員



議員 社会参加の機会を創出する老人クラブには、クラブ数や会員数の減少といった課題があると思うが、本市の支援の在り方は。

健康福祉部長 老人クラブの活動は、高齢者が生き生きと暮らすための地域社会づくりに必要である。老人福祉法では、地方公共団体は老人クラブが行う活動の援助に努めなければならないと規定されており、本市の総合計画においても、活動の推進や活動への参画支援を図ることとしている。民生委員や地域包括支援センター等地域の関係機関と老人クラブの課題を共有し、連携を図りながら、課題解決に取り組んでいく。

ほかの質問
教育

旧朝陽第二小学校跡地 整備構想の方針は

さ と う ひろ ゆき
佐 藤 博 幸 議員



議員 同跡地に整備予定である第二学区コミセンの防災機能の方針は。また、相談と交流ができる福祉のプラットフォームにする考えは。

市民部長 地震の際は指定避難所となるが、洪水の際は、浸水域にあるため、一時的な避難場所として活用できるような整備を検討している。

健康福祉部長 オープンな雰囲気で様々な相談ができる場になるよう検討していく。

議員 中央児童遊園のプレーパーク（※6）としての整備を望む声があるが、市の考えは。

健康福祉部長 地域とのつながりもできると考えており、遊具の整備も合わせて検討したい。

ほかの質問
なし

※6 プレーパーク…木登りや泥んこ遊びなど、子どもが自然の中で様々な遊びを作り上げていく遊び場。通常、常駐のプレーリーダー（大人）がいて、遊びの支援と安全管理を行う。

議会傍聴アンケート

12月定例会を傍聴した方から寄せられたご意見・ご感想（一部抜粋）を紹介します。

- ・質問通告や質問内容を見ると、高齢者、介護、教育、子育てなど、市民の暮らしの課題が取り上げられていると思う。鶴岡市議会は会派数が多く、多様な意見が寄せられ、活発な議論が行われていて、とても良いと思う。
- ・当局は「周知」したいと答弁をするようだが、市民が知りたいのは、具体的にどう周知し、成果を上げようとしているかである。議員からも追求してほしい。



傍聴の様子

都市交流事業の在り方は

し ぶ や こう いち
渋谷 耕 一 議員



議員 木古内町との交流事業は、7月の大雨災害への対応のために直前に訪問を取り止め、延期としたが、ほかの選択肢はなかったのか。準備していた同町に対し、傲慢な判断ではないか。

市長 交流事業の対応は不可能だった。同町長にも相談しており、正しい判断だと考えている。

議員 以前、櫛引地域と長年交流がある熊本市との交流事業の展開を提案したが、進捗状況は。

総務部長 6年6月の防災講演会に熊本市長を迎えた際に、学校同士の交流を提案した。現在、櫛引西小及び櫛引中と熊本市の学校の間で、リモート学習による交流の検討を始めている。

ほかの質問
衆院選の投票所入場券の未配付

委員会視察報告

先進的な施策を実施する自治体を訪問し、視察を行いました。

市民文教常任委員会 視察日10月2日～10月4日

公立学校に多様な子どもの居場所を(愛知県岡崎市)

岡崎市では、不登校対策として、令和2年度に「F組」という学級を一部の公立中学校に新設した。全ての生徒に等しく普通教育を実施することが学校の責務であり、また、生徒が自分の意思で学べる場所も必要との考えから、設置に至った。

「F」には、Free(自由)のほか、Fit(みんなに合う)やFun(楽しい)等の意味が込められており、多様性が認められる居場所があることで、不登校を生まない仕組みが確立された。5年度には市内の全中学校にF組を開設しており、公立学校の責務を果たす取組として大変参考になった。



ほかの視察先と視察項目
愛知県安城市
…図書館の建設及び運営に関する取組
愛知県新城市
…地域自治区制度に関する取組
静岡県袋井市
…おいしい給食課に関する取組

広報広聴委員会 視察日10月29日・10月30日

SNSの特性を生かした情報発信(茨城県取手市)

取手市議会では、住民参加型議会の実現を目標に、積極かつ細やかな情報発信に取り組んでいる。例えば、Facebookでの活動状況の速報、YouTubeでの議会中継、メールマガジンでの傍聴者やイベント参加者の募集など、SNSの特性を生かしたものである。また、議会だよりは、SNSと連動させたウェブ版が中心で、紙媒体には概要のみを掲載し、更に全戸配付をしないことで経費削減を図っていた。本市議会でも更なる情報発信の充実を目指していく上で、大変参考となる取組を学ぶことができた。



ほかの視察先と視察項目
埼玉県さいたま市
…市議会だよりの企画・編集方法

本市の施策が注目されています

鶴岡市議会では、他市議会等の行政視察の受入れを行っています。

令和6年中は、19件111人が来鶴しました。本市の施策が注目されることで、交流人口の増加が期待されます。

★主な視察項目

- ・鶴岡サイエンスパーク
- ・空き家対策事業
- ・食文化創造都市推進事業

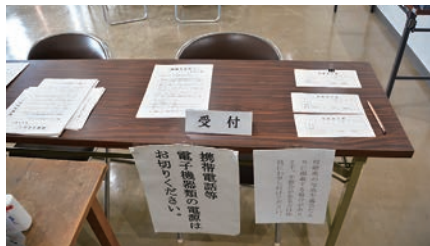


地方創生のモデルとして注目されているサイエンスパーク

議会を傍聴してみませんか

本会議の傍聴の流れ

- ①市役所本所 4 階の傍聴ロビーで受付をする。



- ②傍聴席で傍聴する。
(撮影や録音はできません)



会議途中での入退場も自由にできます。



◆委員会の傍聴は、本所 2 階の議会事務局で受け付けています。

3月定例会日程 (予定)

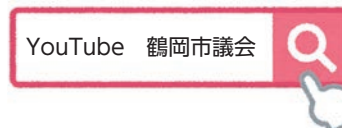
日	月	火	水	木	金	土
2	3	4 本 会 議 (開会・総括質問)	5 予算特別委員会	6 本 会 議 (一般質問)	7 本 会 議 (一般質問) 議会運営委員会	8
9	10 本 会 議 (一般質問)	11 本 会 議 予算特別委員会	12 総 務 常任委員会	13 市民文教 常任委員会	14 厚 生 常任委員会	15
16	17 産 業 建 設 常任委員会	18 常任委員会 予 備 日	19 常任委員会 予 備 日	20 (春分の日)	21	22
23	24 議会運営委員会	25 予算特別委員会	26 本 会 議 (表決・閉会)	27	28	29
30	31			請願・陳情 提出期限 2月25日(火)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。
午後にはわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

パソコンやスマホで視聴できます

- ◆本会議の様子はYouTubeで生中継しています。録画配信も行っていますので、見逃した方もご覧になれます。

YouTube「鶴岡市議会チャンネル」



会議録を閲覧できます

- ◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録を閲覧できます。
◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。市議会ホームページをご覧ください。

編集後記

令和6年は、能登半島地震から始まり、7月の大雨では、本市においても河川氾濫による建物の浸水被害が発生したほか、市内各地で道路や河川、農地、農作物等に甚大な被害がありました。

12月定例会では、農業情勢やユネスコ食文化創造都市の取組のほか、市民の暮らしに直結した防災・福祉・教育など、多岐にわたる項目について、市当局への質問を行いました。議会だよりと合わせてユーチューブ配信も是非ご覧ください。

さて、今冬の降雪量は例年の約1.5倍になるとも報道されています。雪害による事故にはくれぐれもご注意ください。

市議会としても、市民が安心して生活を送ることができるよう、引き続き、努力してまいりますので、今後も皆様のご意見をお寄せください。

広報広聴委員会

委員 佐藤 久樹

発行／鶴岡市議会 編集／広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25
電話 0235-35-1908 FAX 0235-25-2123
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

